

研究所だより

第384号
2018年 2月26日
発行：土佐清水市教育研究所
TEL 82-3015

“春よ来い 早く来い 歩きはじめた みいちゃんが
赤い鼻緒の じょじょはいて おんもへ出たいと 待っている”
『春よ来い』 童謡 大正時代後期



「梅一輪いちりんほどの暖かさ」
と云いますように、梅の花も咲きほころび、木々では小鳥がさえずり、少しずつ春を感じさせてくれるようになりました。

＜外国語教育コア・エリア実践研究指定事業＞

第5回、第6回外国語教育コア・エリア推進会議

2月1日（木）に第5回外国語教育コア・エリア推進会議（幡陽小学校：公開授業・研究協議）、13日（火）に第6回外国語教育コア・エリア推進会議（総括）を開催しました。

第5回コア・エリア推進会議では、下元貴公先生（5年生担任）の公開授業が行われました。単元は「夢の時間割を作ろう」でした。はじめの挨拶では、目標通り笑顔で明るい雰囲気できました。Warming upでは、英語の歌をICTの音声に合わせて元気よく歌いました。既習の復習では、ピクチャーカード等を活用して元気に復習できていました。Activity1では、友達同士でインビュし合い、夢の時間割作りをしました。Activity2では、作った夢の時間割をクイズ形式で紹介し合いました。終始子どもたちは、積極的にコミュニケーションを図ろうとしてました。

第6回コア・エリア推進会議では、3回目の外国語意識調査の分析と授業力チェックシートの分析を基に推進プランの検証を行いました。

以下、第5回の授業の流れ、講話、第6回の研究協議の内容について簡単に報告します。

第5回外国語教育コア・エリア推進会議（2月1日）

1. 公開授業 単元：「夢の時間割を作ろう」（Hi, friends! Lesson 8）

* 授業展開

クラスルームイングリッシュ、ピクチャーカード、ICT等を活用し、元気で、生き生きとした授業でした。

- ① Greeting
- ② Warming up (Song: Sunday, Monday, Tuesday)
- ③ Review (絵カード)
- ④ Activity1 (インビュ活動)
- ⑤ Activity2 (夢時間割の紹介)



2. 推進会議（活発なグループ協議ができましたが、主な活動だけを記載します）

（1）公開授業についての研究協議

講師：長崎 政浩 教授（高知工科大学）

（長崎教授主導のもとで研究協議を進めていただきました）

① 授業研究ワークショップについて

今回も前回同様「仲間や同僚と授業を分析・検討することを通して、英語の授業づくりのための視点と基礎体力を養う。」ことを確認し、グループ協議に入りました。

② ワークショップの進め方

Reflection（授業者の振り返り）

- 1 Celebration（祝福）
 - 2 Collaboration（協働）
 - 3 Action（行動）
- Summary（学びの振り返り）

上記について順番にグループ協議（付箋記入・発表）を行う

ア. Reflection（授業者の振り返り）

- ・自分自身が英語を好きになることを考えながら取り組んでいる
- ・説明は日本語、活動は英語を中心に授業をしている

イ. 1 Celebration（祝福）下記の4点についてグループ協議・発表

- ☆今日の授業から学んだこと
- ☆自分自身でもやってみたいこと
- ☆真似したいこと
- ☆Best Practiceとして残したいこと



◎ 多くの班から

- ・授業者が積極的（一生懸命）に英語を使おうとする姿勢がモデルになる。
- ・子どもが笑顔で楽しそうにやっている姿（学級経営・信頼関係）
- ・授業者の姿勢を子どもたちも学んでいる。
- ・教材の準備：身近な物の活用（教科書の表紙をコピーして）
- ・教師の学ぼうとする姿勢

ウ. 2 Collaboration（協働）

- 改善が必要と思ったこと、疑問に思ったこと、問題点の中から1つだけ全体で協議したいことを発表

- ・Activity1からActivity2につながるような流れの工夫
- ・評価：ほめる言葉（評価）を適宜入れる
- ・振り返りの確保

エ. 3 Action（行動）

- ・Positiveな姿勢で
- ・文字指導について

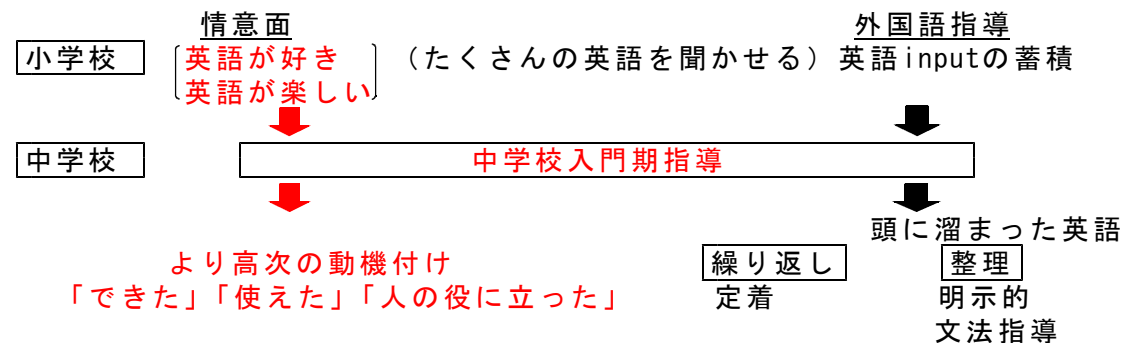
教授から：3・4年生…音声
5・6年生…音声+文字に慣れさせる

おもしろいと思わせる

↓
中学校へ繋げる

オ. Summary（学びの振り返り）

- 小中それぞれの役割
- ・小中の連携が重要となる
- ・早く始めて、中高で新に学び続けること



(2) まとめ(講評等)

講師：吉岡 身佳 指導主事(西部教育事務所)

- ・小中が取組を共有する。
- ・文部科学省の計画を基に各校の年間指導計画を作成する。
- ・複式年間指導計画(サンプル)については2月末完成予定。
- ・Hi, friends!の指導書は配布しないので保管しておくこと。

第6回外国語教育コア・エリア推進会議(2月13日)

(1) 外国語意識調査の分析・推進プランの検証について

(2) 授業力チェックシートの分析について

(3) 講話

講師：松本 桂 指導主事・吉岡 身佳 指導主事(西部教育事務所)

- ・小中が取組を共有する。
- ・文部科学省の計画を基に各校の年間指導計画を作成する。
- ・複式年間指導計画(サンプル)については2月末完成予定。

* 外国語教育コア・エリア推進プランにつきましては、各校に配信しますので今後の外国語活動の推進にご活用ください。

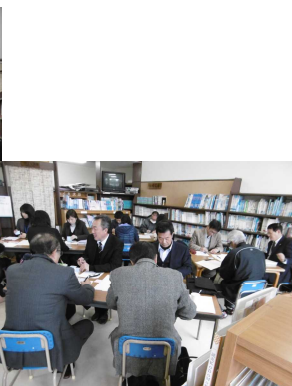
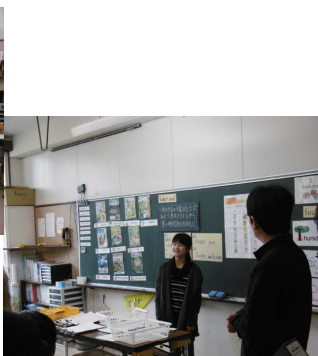
～さいごに～

英語の教科化やそれに伴う授業時間数増への対応等について大筋案が示されました。本市でも、この1年間「外国語教育コア・エリア実践研究指定事業」の指定を受け、各小中学校管理職、外国語担当教諭を中心に学校全体で研究を進めていただき、小学校2校(清水小・幡陽小)と清水中学校で公開授業等で取組を発信していただきました。また長崎 政浩教授や松岡指導主事、松本指導主事、吉岡指導主事からもたくさんのご示唆をいただき、今後の方向性も見えてきたと思います。

4月からは、平成32年度全面実施に向けての移行期間として各校で取り組むようになります。全教職員が『コミュニケーションの素地を養う』という目指すべき方向をしっかりと見据え、Positiveな姿勢で外国語活動の授業を作り上げていくことが大切だと思います。

土佐清水市全体の外国語活動の推進に向けて、長崎教授や指導主事の皆様をはじめ各校の先生方に、実践的研究の推進にご協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

第5回コア・エリア推進会議(公開授業・会議)



☆第6回教研推進委員会(委員長：岩井 圭先)

22日(木)に第6回教研推進委員会が開催されました。協議内容を報告します。

1 一年間の総括について

- ・組織教研・一日教研の前に日程、準備役割分担等、運営や内容に関わる話し合いができた。
- ・教研終了後、各校からの意見を持ち寄り、振り返りを行うとともに、次年度の内容、日程等について話し合うことができた。
- ・教研推進委員会の後、議事録を送って貰えて良かった。
- ・議題が精選されており、効率的に進めることができた。
- ・推進委員会の回数(年6回)について(協議)

今の教研活動(組織教研、一日教研、半日教研)を考えると事前・事後の打合せや振り返りが必要なので現状維持とする。事務局としては、今まで通りメールでの集約・配信を心がけ、推進委員の負担軽減に努める。

- ・半日教研では、多くの部会で研究授業を実施できた。
- ・一日教研と半日教研はこれまでの規模を維持したい。

2 平成30年度 第1回教研推進委員会の日程

期日：4月10日(火) 16:00～ 会場：教育センター

3 その他

(1) 一日教研の演題について 「(仮)これからの特別支援教育の在り方について」

(2) 組織教研開会行事について

- ・「推進委員長の挨拶」の中で「教研の歴史、取組等」について触れる。
- ・「日程説明・連絡事項」の中で学校数、児童生徒数、教職員数等について紹介する。

(3) 部会について

「平成26年度教研推進委員会での結論を踏襲する。」

- ・部会：従来の部会を基本とする。(各教科、問題別)
- ・部会構成：部会成立は、5人以上の部員を必要とする。
国語、社会、算数・数学、理科、外国語については少人数でも存続させる。
但し、技能教科(音楽、家庭、体育、図画)については3人以上の部員で可とする。

4 平成30年度教研推進委員(地区割り)について

半島地区は、中浜小が休校になるため、足摺岬小は東部地区に入り活動することとする。

5 平成30年度市教研の日程について

- ・組織教研 期日：4月18日(水) 会場：清水中学校(予定)
- ・一日教研 (1) 期日：8月8日(水) 午前①開会行事 ②講演会 午後一部会別研修
(2) 会場：土佐清水市中央公民館
(3) 講師：井上 貴美 先生(特別支援教育アドバイザー)
- ・半日教研 期日：11月7日(水)

—お詫び—

「研究所だよりNo.383」の書籍紹介でご紹介しました【開始1分で聴き手を裏切る一流のプレゼン術(小木曾 健)】ですが、納入不可となりましたので蔵書一覧から削除させていただきます。